中学校トークプログラム「CHA³(チャチャチャ)プログラム」
～「中学生×大学生×大人」で語り合おう～

ふるさとキャリア教育の一環として、中学生と地域の大人、大学生がグループになり、働き方や生き方などのテーマについて自由に話し合う「CHA³(チャチャチャ)プログラム」の取組を進めています。

この取組を通じて、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたりふるさとを思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる人材の育成を目指します。

「CHA³」とは…
- Chance　地域の方や大学生と出会う機会
- Change　多様な価値観と出会い自分を変える
- Challenge　様々なことに挑戦する

テーマの答えは、人それぞれ。自分の考えを話すとともに、それぞれの体験談に耳を傾け、年代を超えて人との違いや会話を楽しみます。

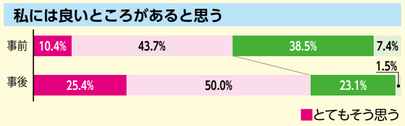
<プログラムの流れ>

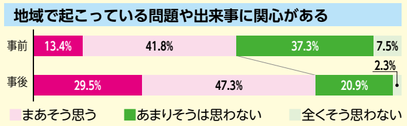
中学生4人、大人2人、大学生の7～8人のグループになります。

1. アイスブレイク
2. 自己紹介
3. 司会が出題するテーマ(例:住んでいる地域のいいところは?／働くってどういうこと?)の自分の答えを紙に書いて見せ合い、話し合う

プログラムの実施後には、生徒の意識に変化がみられます。

(プログラムの事前事後に実施したアンケート調査の結果)
※社会教育課モデル事業実施校　米子市立美保中学校、琴浦町立赤碕中学校、鳥取市立千代南中学校の集計





参加者の感想(アンケート自由記述より)

中学生、大学生、地域の方が話すことがないので、とても良い時間になった。それぞれの立場から生きるヒント、人生で大切なことを学ぶことができ、有意義な時間だった。(大人)

話し考え、また話すことで参加者が一つになることができた。学びあうプログラムであった。(大人)

知らない者同士、社会人と学生が中学生のために言葉を選び考えるところがとてもあたたかかった。(大学生)

地域の方や大学生の話はわかりやすく深い話で、とても納得できた。自分の進路や将来について詳しく話すことができ、とてもよい体験だった。もう一度したい!(中学生)

中学生が大人の話を聞いて、将来のことを考えている姿がとても良かった。中学生の学びの場であるが、自分の学びにもなった。(大学生)

私は人前に出るのが苦手に思ったりするが、自分らしくていいんだと思えた。自分を前向きにしてくれるプログラムだと思う。(中学生)

(実施校)米子市立美保中学校、琴浦町立赤碕中学校、鳥取市立千代南中学校、伯耆町立岸本中学校、境港市立第二中学校、伯耆町立溝口中学校(令和2年2月予定)
※鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、島根大学などの大学生の方にご協力をいただきました。

問合せ先　県教育委員会社会教育課
電話:0857(26)7943　FAX:0857(26)8175

とっとり発 ミリョク発見！ 親子でおしごと体験ツアー

鳥取県にある企業のいろいろな仕事を親子で見学したり体験したりするツアーを開催しました。誇りを持って仕事に取り組んでいる人の姿を見て、働くことのやりがいや将来の仕事について考えるよい機会になりました。

参加者の感想

子ども

鳥取県の若い人が県外の仕事に就いていて、県内の仕事に就く人が減っていると聞いた。鳥取県内の魅力的な企業を知ってもらえば、県内の仕事に就く人が増えるのではないかと思った。

保護者

地元にこんなにがんばっている企業があることを知った。小学生にとって、実際に働く姿や現場を見せてもらう貴重な体験となった。親も地産地消について考える機会となった。

家具の工場見学

テレビ局でアナウンサー体験

問合せ先　県教育委員会小中学校課　電話:0857(26)7512　FAX:0857(26)8170

岩美高校×楽天株式会社「Rakuten IT School NEXT」

岩美高校では、「Rakuten IT School NEXT」として、3チーム12名が「2030年のサステナブルな漁業」というテーマで、漁業の後継者不足等についての課題研究に挑戦しました。

楽天社員の方や地域の方からの話やアドバイスをもとに、アイデアを出し、検証をし、磨き上げながら成果をまとめました。

岩美高校の提案
- 若い人たちに漁業への関心を持ってもらう
  →検証には手作りVRゴーグルを活用し、岩美中学校の2年生も協力。
- 遠隔操作により漁船を無人化し、少ない人数で漁業を維持する

(この提案は東京の楽天本社で開催される成果発表会で発表します。)

苦手な発表や話し合いに自信が持てるようになりました！

「Rakuten IT School NEXT」とは
生徒が楽天株式会社社員や地域の方々と一緒になって、テクノロジーを活用しながら地域課題の解決のためのアイデアを考えるプログラム
(鳥取県と楽天株式会社の包括提携に関する協定の取組の一環)

最先端企業の社員の方々からの助言はとても刺激的でした！

問合せ先　県教育委員会高等学校課　電話　0857-26-7517　FAX　0857-26-0408

新しい学習指導要領がスタートします

小学校:令和2年度～
中学校:令和3年度～
高等学校:令和4年度～

学校で学んだことが、子どもたちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい。

令和2年度から始まる新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。

◆「学習指導要領」とは?

全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準です。およそ10年に一度改訂され、これを基に子どもたちの教科書や時間割が作られます。

「生きる力」を育むために 子どもたちの学びはどう進化するの?

文部科学省「学習指導要領ウェブサイト」へGO!

どんな授業にしていくの? 「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして授業が変わります。

◆一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業
◆見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業

◆周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
◆自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランスよく育みます。

小・中・高等学校での外国語(英語)教育が変わります

社会のグローバル化に伴い、外国語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、外国語(英語)教育の充実を図ります。

◇小学校　⇒ 3年生から外国語活動が始まり、5年生からは外国語という教科が始まります。

◇中学・高校　⇒ 「英語で行う授業」へと引き継がれ、内容が高度化します。「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という英語の4技能をバランスよく育成する授業に変わります。

小学校でプログラミング教育が始まります

これからの社会では、様々な活動においてコンピュータ等を活用することが求められます。

小学校では、各教科等の授業において、順序立てて考えたり、場合分けして考えたりする力やコンピュータ等を活用しようとする態度を育成するプログラミング体験が行われます。

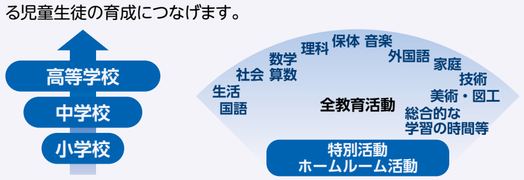
(例えば…)小学校　第5学年　算数
プログラミングを通して正多角形の意味を基に正多角形をかく

正六角形を正しくかくためのプログラム例

キャリア教育の充実に向けて「キャリア・パスポート」が導入されます

「キャリア・パスポート」とは、
- ▶小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動を記録します。
- ▶自らの学習状況を見通したり振り返ったりしながら、自分の変容や成長を自己評価できるものです。
- ▶大人(家族や教師、地域住民等)がコメントを返す等対話的に関わることが重要です。
- ▶令和2年度からは、すべての児童生徒が「キャリア・パスポート」を持ち、高校3年生まで持ち上がります。

鳥取県では、ふるさとキャリア教育の充実を図るため、この「キャリア・パスポート」を活用します。各学校で実施されるふるさとに関する学習を行った後、子どもたちの記録を残し、ふるさと鳥取に誇りを持ち、未来を創造する児童生徒の育成につなげます。



児童生徒が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくため、学校、家庭、地域、様々な立場から児童生徒への関わりが重要です。御協力をお願いします。

問合せ先　県教育委員会小中学校課　電話 0857(26)7512　FAX 0857(26)8170　県教育委員会高等学校課　電話 0857(26)7916　FAX 0857(26)0408